

2011年度

科目名	ベンチャービジネス論			
担当教員	小坂 暢幸			
配当	人社4		コード	44072
開期	後期	講時	木曜日4限	単位数 2
授業テーマ	ベンチャービジネスについて、様々な角度から分析する。さらに、ベンチャー企業を立ち上げる為の方法や研究課題を講義する。会社設立の実資料も紹介する。人生と仕事を考え、ベンチャー企業の方向について論じる。			
目的と概要	ベンチャー企業を立ち上げることには、多くの困難や喜びが存在する。講師は、実際に40才の時、大企業から独立し、小企業を立上げ、現在、代表取締役である。実際のベンチャー企業を約20年間経営し、様々な体験を持っている。すべてが順調に進む訳ではなく、困難な経営であった。これをベースにベンチャー企業を論じる。また、多くの商品を生計・販売してきたが、販売がいかに難しいかを伝える。現実のビジネス社会での、ベンチャー企業の状況を、様々な角度から講義する。			
成績評価法	平常点(70%)と、レポート提出(30%)			
テキスト	ベンチャービジネス論			
参考書				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	ベンチャー企業の設立の方法論ではなく、ベンチャー企業の実態や、大企業と比較しての会社の違いを述べる。 ベンチャー企業の仕事の内容や、経営方法を聞いて頂きたい。独立指向の学生や、ベンチャー企業に興味のある学生の参加を望む。会社とは、どんなものかを知るだけでも、今後の社会生活に役立つと思う。			
講義計画				
1. 総合概論 2. 販売と資料の流れ 3. 広告 4. 事務所の設定 5. 商品開発と商品化 6. 会社の設立 7. 資金と金融 8. 資格とビジネス 9. 人事と人材確保 10. 商品分析 11. ビジネスの構造とフランチャイズ制 12. ベンチャーキャピタル会社と株式上場 13. ベンチャー支援組織とベンチャー用語 14. 講師の企業家への足取りからの学習 15. ベンチャー企業のまとめ 起業、ベンチャー企業に関し、総合的に講義する。 提案、見積り・・・納品までの、資料の紹介と役目について。 広告の種類と広告方法、カタログ作成。 事務所の設定から、資料や事務用具の準備まで。 商品の開発から、販売形式の商品化へ。 株式会社の設立から登記、各組織への申請まで。 資金の準備方法と金融機関との関係。 資格の内容とビジネスの関係。 会社の経営者と社員人事、人事確保方法。 様々な商品の分析、ビジネスモデルについて。 ビジネスの形態と、フランチャイズ制について。 VCの仕組みと、株式上場について。 支援組織とベンチャの関連用語について。 講師の入社から、ベンチャー企業の経営までの足取りから学習 ベンチャー企業のまとめ。				